

# 長年の保護者要求が実現



# 入学準備金（就学援助制度）3月支給へ

## 米原市民報

日本共産党米原市議員  
山脇正孝 Tel.52-1093  
日本共産党湖北地区議員団会議  
事務局藤田正雄 Tel.55-1128

<http://www.jcp-maibarashigidan.com>

### 山脇議員が教育問題他で初質問

12月6日から一般質問が始まりました。日本共産党山脇正孝市議は3番目です。「来年度の各部局への予算配分について」「義務教育費の保護者負担の現状および学校給食の無償化について」「就学援助（入学準備金）の入学前支給について」「長老墓地川（多和田）の水害防止と改修問題について」と題した一般質問を行いました。

山脇議員の初質問は、市民の要求に基づき、執行部に切実な要求を突き付ける堂々とした質問でした。

山脇議員の質問により、念願だった就学援助（入学準備金）の3月支給が明らかになりました。

### 子どもの貧困化は切実な問題

Q、今年度の就学援助の総件数は何件ですか。また、その受給率はどれくらいで児でしょうか。

A、平成29年度の準要保護児童生徒の就学援助費を支給しているのは、本年11月1日現在、小学校160人、中学校101人、合計261人です。また、在学児童生徒に対する就学援助費の受給率は、小学校7・8%、中学校で9・2%となっております。

山脇議員の初めての一般質問です。以前から日本共産党米原市議団では就学援助制度（生活保護世帯、ひとり親世帯、低所得世帯に対する教育援助制度）の改善を強く要求してきました。今回は大きな成果をえた「入学準備金の入学前支給について」の質問を掲載します。あとの質問は次号で。

Q、本年度文科省調査における2014年度の全国平均は、15・39%となっております。全国平均に比べればかなり低い受給率です。本来いただけるのに、何らかの理由でもらえていない児童生徒がいるのではないのでしょうか。

A、受給対象者のうち、何らかの理由でもらえていない児童生徒もいるかと思えますので、周知徹底したいと思えます。

### どの子もわくわくした気持ちで入学式を

Q、本市にも貧困化の波が押し寄せています。ぜひとも、どの子も同じスタートラインに立って、わくわくした気持ちで入学を迎えられるよう、就学援助の入学準備金については、入学前3月に支給していただきたいと思えます。

A、本年度まで、就学援助費のうち新入学児童生徒学用品費（入学準備金）については、1学期末の7月に支給してまいりました。しかしながら、制服やカバンなどは、入学までに購入する必要があることから、入学前の3月頃には保護者の大きな経済負担が生じています。このため、平成30年度入学の小学生中学生の保護者を対象に、就学援助費のうち、新入学児童生徒学用品費を、新学年新学期開始前の平成30年3月に支給できるように、

必要な予算を、補正予算で今議会に提案しているところですが。

### 変更された内容をしっかりと説明を

Q、積極的に大切な答弁をいただきました。多くの子どもたちや保護者も喜ぶことでしょうか。積年の要望が実現しました。そこで提案です。1、2月に各学校で入学説明会が開かれますが、普通、教頭先生などが就学援助制度について説明されます。しかし、説明の仕方がばらばらだったり、時間がなかったり、質問しづらかったりという話も聞きます。たいへんですが、ぜひ、入学説明会の中で、委員会の担当の方が、「入学準備金」の3月支給のことも含め、就学援助について説明しに来ていただけないでしょうか。そのあとで個別相談にもついでにいただけたらと思えます。ご検討ください。

A、制度が変わりますし、各学校へ説明に参りたいと思えます。このことにより、利用しやすい制度にしていきたいと思えます。

30年3月に支給できるように、

### 雑感

前号で奨学金給付条例について書きました。12月13日の総務教育常任委員会では、継続審査との委員会審査となりました。もちろん山脇議員は賛成の立場で議論をしてきました。今後は最終日の本会議での討論採決で逆転可決も可能です。議員は市民の幸せをどのように守る、予算を使っていくのが肝心です。共産党が言っているので反対だなどという「反対のための反対」は許されません。

